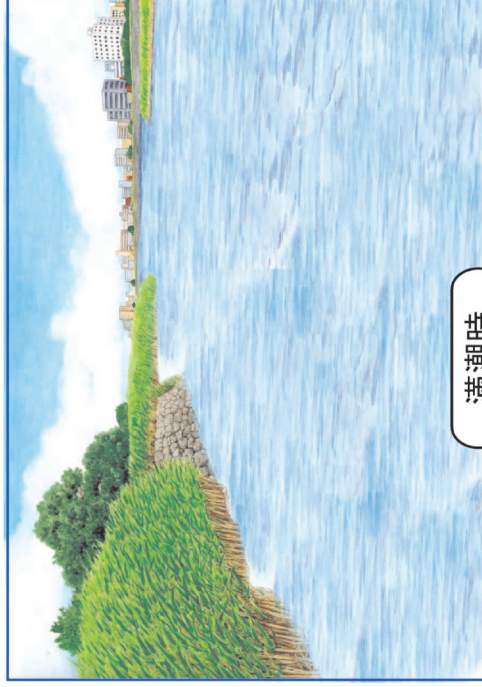


① 干潟について

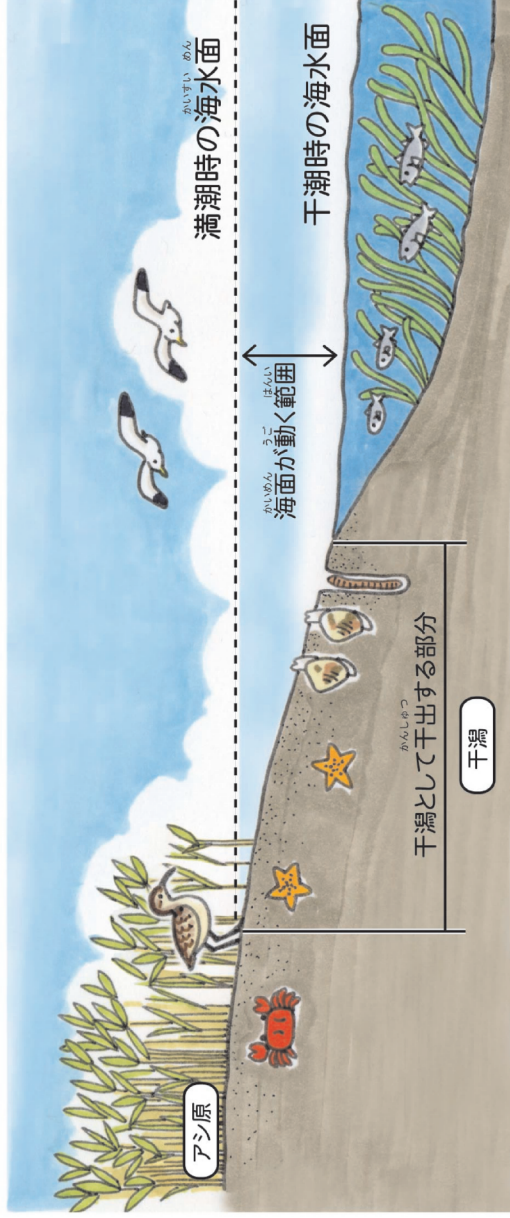
このイラストは干潮時の多摩川河口干潟を描いたものです。満潮時にはすっかり水におおわれます。



干潮時



満潮時



潮の満ち干によって、1日に2回、陸になったり海になったりする場所を「干潟」と言います。自然な状態では、アシ原とセツトになっていることが多く、多様な生きものを育む豊かな環境を形作っています。昔から私たちは干潟から多くの恵みを受け、身近な水辺の自然として様々に利用してきました。しかし、高度成長期には、全国各地で埋め立てが盛んに行われ、汚染も進み、干潟の恵みは失われてしまいました。失われて初めて、多様な生物相や海をきれいにする干潟の力が直され、各地で干潟を保護する活動も増えました。かつて汚染で破壊された多摩川河口の干潟も、下水道の整備などをとおして、いまは見事に回復をとげ、多様な生きものたちにぎわう、貴重な都市の自然環境となっています。

＜干潟の種類＞ 多摩川の干潟は「河口干潟」に分類されます。



前浜干潟

河口から外の海岸線や沖合いまで広がる干潟

河口干潟

河口から下流域の潮の入る岸辺に広がる干潟

潟湖干潟

河口や海から湾状の水域に形成される干潟